

今話題の「ヒアリ」ってどんな虫？

環境省より、特定外来生物である「ヒアリ」が国内で発見されたとの発表があり話題となっていますね。**強い毒を持ち、攻撃性の強い殺人アリ**だとして報道され、国民の誰もが不安を感じたと思います。

このヒアリが初めに見つかったのは、**兵庫県尼崎市**です。中国から神戸港に入港した貨物船のコンテナ内部で発見され、ヒアリだと断定された後に駆除活動が行われていました。しかしその後、**大阪港**でヒアリの女王蟻が発見されたことで、国内での繁殖が懸念され、不安を煽っています。

殺人アリと呼ばれ、特定外来生物に指定されているこのヒアリ。一体どのような生態をしているのでしょうか？

◆ヒアリ（火蟻）の特徴は？



ヒアリの女王アリ

別名アカヒアリといえます。

体長は小型で2.5～6mm程、個体の色は赤茶色で、腹部が濃く黒っぽい赤色となっています。触角は10節で先端の二つが大きく、背中に二つのコブ、口元に出っ張りがあり、お尻（腹部）に毒針をもっているのです。

基本的に草地などの開けた環境が生息地となり、ドーム状の蟻塚（巣）を作ります。蟻塚は直径25cm～60cm、高さ15cm～50cm程度で、かなり大きなサイズといえます。

◆強い毒針で攻撃してくる危険も！

攻撃性が高く、極めて強い毒針を持っており、人間を含めた様々な動物に対して集団で攻撃をしかけてくるそうです。

毒針で刺された場合、**火傷のような激しい傷み**が生じます。人によっては、**呼吸障害や意識障害、血圧低下を起こす**など、アレルギー反応によって死に至る危険性もあるのです。

この毒の成分には、ソレノプシン、ホスホリパー、ヒアルロニダーゼなどが含まれています。ハチ毒の共通成分が含まれている為、ヒアリに刺されたことがなくても、蜂に刺された経験のある方は**アナフィラキシーショック**が出てしまう可能性があり、更なる注意が必要です。

人間にとって大きな脅威ともいえるこのヒアリの攻撃力。犬にとっても恐ろしい存在となり得るのでしょうか？

犬もヒアリに刺される？ヒアリに刺された時の症状と対策

前述の通り、ヒアリは人間を含む動物に対して攻撃を行うので、勿論、**犬も攻撃対象**となり得ます。

犬の場合、**肉球や脚先、マズルやお腹**が攻撃を受けやすい箇所として挙げられるので、むしろ人間よりも犬の方が刺される確率は高いといえるでしょう。公園を散歩していて大きな蟻塚を見つけたら、好奇心旺盛な愛犬であれば「なにかな？」と近付いてしまう可能性もあります。

それでは、もし愛犬がヒアリに刺されてしまったら、どのような状態になるのでしょうか。刺された場合の反応や発症する症状、対処法を覚えておきましょう。

◆犬がヒアリに刺された時の反応は？

- ・地面をゴロゴロと転がる。
- ・震えだす。
- ・患部を舐める、噛む。

犬も人間と同様に、刺された直後に焼けるような痛みを感じ、その後、痒みによる不快感を覚えます。この不快感を解消するために、上記の行動を執拗にとるようです。

身体を擦り付ける、舐める、噛むなどの行動が見られた場合は、虫や異物、傷などがいないかをすぐに確認してください。刺されたり、噛まれた場合は、患部に赤みや腫れが見られます。

◆犬がヒアリに刺された時の症状は？

軽度であれば、痒みや腫れで済みますが感染症への注意が必要です。

痒みを抑えるには、ベーキングソーダ（重曹）と水のペーストを患部に塗布する方法が有効的だそうです。これを塗布した上から、包帯・靴下などで患部をカバーして、愛犬が舐めたり噛んだりするのを防ぎましょう。

赤みが引かない場合、24～36時間経っても腫れが改善しない場合は、感染症の疑いがあります。もし傷のサイズが大きくなっていたら問題有りです。

重度の場合は、顔面の腫れ、呼吸困難、ふらつきなどのアレルギー反応が現れます。これらの症状は、刺されてから12時間以内に出るといわれているので、症状が見られた場合はすぐに病院へ行きましょう。犬の体質や年齢にもよりますが、対処の遅れが命の危険を招く可能性もあります。

いずれの場合も、飼い主さんがしてあげられることは応急処置と考え、獣医さんに一度診てもらおうほうが良いでしょう。

◆犬がヒアリに刺された時の対処法は？

愛犬に虫刺されの疑いがある場合は、すぐに傷を確認しましょう。赤みや腫れがみられるはずです。

刺した虫がヒアリであれば、即座にその場所を移動しなくてはなりません。ヒアリは危険を感じたら仲間にシグナルを発し、それが集団攻撃に繋がる場合があるからです。移動しない限り、ヒアリの攻撃は続くということです。

場所を移動したら、すぐに愛犬についたヒアリを取り除きましょう。手袋やタオル、何もなければ洋服の袖を巻き付けるなどして、愛犬の上部から取り除きます。顔や脚、お腹は集中的に確認してください。

ここで、してはいけない対処法が水をかけること。水をかけるとヒアリがパニックを起こし、より攻撃的にしまう可能性があるようです。

ヒアリを取り除いた後は、症状によって応急処置を行い、一度獣医さんに診てもらうことをお勧めします。環境省への連絡も忘れずにしてくださいね。

現時点では、ヒアリとの遭遇率はまだ低いといえますが、対策はとるに越したことはありません。幸い、ヒアリにも虫よけスプレーの類は効果があるようなので、外出の際には防虫対策を怠らないようにしましょう。